

令和2年度

2次医療圏地域・職域連携推進協議会

及び

ワーキング会議の開催状況



医療圏 (保健所)	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
尾張西部 (一宮)	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和2年度尾張西部圏域地域・職域連携推進事業の取組について 令和3年度尾張西部圏域地域・職域連携推進事業計画（案）について 各機関が連携した取組について <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <p>○ストラクチャー（構造）</p> <p>①協議会・ワーキンググループの構成員が適切であったか。 →現在のテーマ開始時から継続しており、適切であった。</p> <p>②連携の意義や効果が関係機関で共有されているか。 →会議が書面開催となったため、意義や効果が共有しにくかった。来年度は新型コロナウイルスの状況によってはweb会議の開催も検討する必要がある。</p> <p>③適切な評価指標が設定されているか。 →取組の計画を延長（3年計画を4年に延長）するため、再検討が必要である。</p> <p>○プロセス（過程）</p> <p>①取り組むべき優先課題を明確化しているか。 →平成30年度に優先課題を明確化し、毎年見直しながら取り組むことができている。</p> <p>②目標や年間計画が設定されているか。 →目標や年間計画を設定しているが、新型コロナウイルスの影響により変更した計画をワーキングで検討できたのが11月と、時期が遅くなってしまった。</p> <p>③連携事業の評価が実施されているか。 →年間計画時に連携事業毎の評価指標を設定し、ワーキングと協議会で評価を行うことができた。</p> <p>○アウトプット（事業実施量）</p> <p>①健康社食プロジェクト事業所への支援回数 →豊田合成株式会社：会議1回、打合せ3回、視察3回、電話3回、メール14回 株式会社ソトー：視察・打合せ1回、電話1回 三菱電機株式会社：電話3回 新型コロナウイルス感染防止対策のため、検討会議や対面での打合せが少なかった。その分、web会議やメール、電話を活用した支援を行った。</p> <p>②減塩メニューを提供できたか。喫食者数。 →豊田合成株式会社（稲沢工場）：11月に週1回イベントメニューとして提供。元々毎日提供されているスマートミールが1日10食未満なのに対し、イベントメニューは25～67食と喫食者が多かった。また、10月から味噌汁が減塩味噌に変更され、1杯あたりの食塩相当量が1.8gから0.8gに減塩された。 株式会社ソトー：コロナ禍で食堂の状況に変化（喫食者数減、提供方法変更、委託業者変更等）があり、減塩メニュー提供は行わなかった。調味料を各テーブル置きから1か所に集中化した。 三菱電機株式会社 稲沢製作所 寮：10月に1回減塩メニューを提供し、卓上調味料を減塩</p>	<p><第1回></p> <p>書面開催 令和2年10月30日（金）資料送付 令和2年11月20日（金）終了</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 尾張西部圏域地域・職域連携推進事業について これまでの取組と令和2年度の計画について 健康社食プロジェクト進捗状況について <p><第2回></p> <p>書面開催 令和3年2月10日（水）資料送付 令和3年2月22日（月）終了</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度の取組について 次年度の計画について 	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度作成した高血圧予防啓発ポスターの活用状況を確認することができた。 新型コロナウイルスの影響により変更した連携事業の計画を共有することができた。 健康社食プロジェクトの状況を報告し、取組への意見を聞くことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、ポスターが当初の計画通り配付できていない。 社員食堂が感染拡大防止のため運営方法が変更になる等、社食プロジェクトも新型コロナウイルスの影響を受けている。 <p><地域・職域連携推進ワーキング 第2回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各機関が他機関と連携して取り組んだ事業や今後他機関と連携したいと考えていることについて情報共有することができた。 令和3年度の事業計画の検討ができた。（今年度は新型コロナウイルスの影響で連携事業が十分に実施できなかったため、令和3年度は今年度の取組を継続して実施） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での連携事業の実施や会議の開催方法（webの活用）

	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
尾張西部 (一宮) 続き	<p>にした。減塩メニューの申込み数が少なく、反応は薄かった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により食堂の状況の変化や直接支援ができない期間があったため、当初予定していた内容を変更した。</p> <p>③高血圧予防ポスターの配付枚数 →ワーキンググループ・協議会の構成員の関係機関を中心に A4 サイズ 7,699 枚、管内給食施設や保健所来所者等に A4 サイズ 280 枚、A2 サイズ 33 枚を配付した。新型コロナウイルスの影響により、イベント等の中止があったため、配付枚数が計画枚数の A4 サイズ 75.8%、A2 サイズ 14.3%であった。次年度もポスターを活用した啓発を継続する予定である。</p> <p>④啓発活動の参加者数 →計画していた大型商業施設における啓発活動は、感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>○アウトカム (結果)</p> <p>①特定健診受診率</p> <p>②特定健診における高血圧を有する者の割合 →今年度は 3 年計画の取組の最終年であったが、連携事業が新型コロナウイルスの影響により十分に実施できなかったため、取組を 1 年延長することとなった。①②共に取組最終年となる来年度に評価する。</p>		
尾張東部 (瀬戸)	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和 2 年度地域・職域連携推進事業について 令和 3 年度地域・職域連携推進事業(案)について その他 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、資料送付での開催とした。) <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業主または健康管理担当者向けの「働く人のための健康づくり応援ガイド」を商工会議所、商工会等を通じて事業所に配布した。 アドバイザーや関係機関から次年度の事業に関する意見もいただいたため、それを踏まえつつ健康づくり応援ガイドの活用状況や反応等を把握し事業の最終評価を行っていく。 	<p><第 1 回> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p><第 2 回> 令和 2 年 11 月 20 日 (水) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面開催中止、資料送付</p> <ol style="list-style-type: none"> 尾張東部圏域の健康情報について 令和 2 年度地域・職域連携推進事業計画について 管内市町における取組みについて 	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第 1 回></p> <p><地域・職域連携推進ワーキング 第 2 回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の健康情報の提供 管内市町が若い世代や職域を意識して実施している健康づくりの取組みについて情報提供
尾張北部 (春日井)	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 尾張北部地域の健康情報について 令和 2 年度地域・職域連携推進事業について 令和 3 年度地域・職域連携推進事業計画 (案) について <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <p>○ストラクチャー (構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会及び作業部会を各 1 回書面開催にて実施した。構成機関は地域・職域の両方の者が含まれていた。 協議会及び作業部会では、情報誌の配布・配信実績や健康づくり出前講座の実施状況、職 	<p><第 1 回> 令和 2 年 1 1 月 (書面開催)</p> <ol style="list-style-type: none"> 講話「地域・職域連携推進ガイドラインの改訂ポイントについて」 今年度の地域・職域連携推進事業の実施状況について 健康づくり出前講座の進め方について (ア)実施手順書 (案) について (イ)高血圧予防に関する共通媒体の作成について 	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第 1 回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「働く人のための健康づくりガイド第 10 号～会社で取り組む高血圧対策～」を追加発行し、構成員等の協力を得て配布・配信した。 R2.4～9 月まで中止にしていた健康づくり出前講座を構成員に意見聴取した上で、10 月～条件付き再開とした。 高血圧予防に関する共通媒体を作成した。健康づくり出前講座について Web による事後アンケートの実施を試みた。

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>尾張北部 (春日井) 続き</p>	<p>域への啓発活動の実施状況等を関係機関で情報共有した。また、作業部会では構成員に対してコロナ禍での事業の進め方についてのアンケートを取り、集計結果を共有した。</p> <p>○プロセス（過程）</p> <p><情報誌配布・配信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の事業主や人事労務担当者を対象とした「働く人のための健康づくりガイド第10号～会社で取り組む高血圧対策～」を追加発行し、構成員等の協力を得て配布・配信した。 <p><健康づくり出前講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により4～9月まで中止していたが、構成員に意見聴取した上で、10月～条件付き再開とした。 ・希望のあった事業所を対象に、事業所の所在地の市町が講師として出前講座を実施した。 ・事業所からの依頼を受けて調整したものの、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により中止や延期などが5件あった。 <p><職域への啓発活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職域を対象とした健康づくりに関する啓発の中には、地域と職域が連携して実施したものもみられた。 <p><血圧計貸出し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所を対象に実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規受付を中止した。 <p>○アウトプット（事業実施量）</p> <p><情報誌配布・配信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体 2,356部 ホームページアクセス数 433 <p><健康づくり出前講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5事業所に延べ6回実施。 うち、高血圧対策の内容を含んだものが2回実施。 <p><職域への啓発活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職域への啓発活動31回（延50回）実施。 うち、高血圧予防に関すること5回（延8回）実施。 <p><血圧計貸出し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か所の事業所に貸出した。 <p>○アウトカム（結果）</p> <p><情報誌配布・配信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3事業所より出前講座の問い合わせがあり、1事業所より血圧計貸出しの問い合わせがあった。 <p><健康づくり出前講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケートより講座が「分かりやすい」「興味を持てた」「役に立つと思う」と回答したものがそれぞれ100%であり、「明日から取り組みそうなことがある」と回答したものが94%であった。 <p><血圧計貸出し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2事業所ともに血圧計を自前で設置したことを機に貸出しを終了している。 ・出勤時に血圧測定を行うようにした結果、従業員同士が血圧に関する話題を話す等、従業員の意識が向上し、中には通院を開始した者もいるとのことであった。 		<p>【課題】</p> <p>コロナ禍における当事業（特に健康づくり出前講座）の進め方について</p>
------------------------------	---	--	---

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>尾張中部 (清須)</p>	<p>【内容】</p> <p>1 尾張中部地域の健康課題について (1) 尾張中部地域の健康課題に関する指標 (2) 令和2年度商工会健診個別健康教育実施結果について</p> <p>2 尾張中部地域における地域・職域連携推進事業について (1) 令和2年度の事業実績と課題について (2) 令和3年度の事業計画について</p> <p>3 その他</p> <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <p>○ストラクチャー（構造）</p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり協議会を1回、作業部会を2回開催した。 ・連携するために必要な関係機関に構成員として参加を依頼できたが、学識経験者等助言的立場の参画がない。 ・協議会設置要項を作成し、目的や協議内容を示した。 ・新型コロナウイルス感染症対応のため、一部予算が執行止めになり、計画どおりの予算管理はできなかった。 <p>【考察】</p> <p>事業実施に向けた体制整備はできているが、事業の質向上として、助言者の参画の検討が必要である。</p> <p>○プロセス（過程）</p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、対面ではなく書面での開催となったが、事前に意見交換したい内容のアンケートをとるなど、構成員のニーズに対応できた。 ・協議会にて事業報告及び次年度計画の諮問を書面にて行い、各構成員から承認を得た。 <p>【考察】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施方法が例年と異なったが、臨機応変な対応ができた。</p> <p>○アウトプット（事業実施量）</p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施回数 1回 <ul style="list-style-type: none"> ①全国労働衛生週間説明会（名古屋西労働基準協会主催） ・健康づくり情報誌の発行回数 1回 <ul style="list-style-type: none"> R2.4に発行、各市町商工会の広報誌にて折込配布 ・啓発資材の配布数 <ul style="list-style-type: none"> －食品衛生責任者再講習会にて受動喫煙防止ハンドブックを配布（870部） －全国労働衛生週間説明会にて受動喫煙防止対策、健康経営及びあいち健康マイレージに関する資料を配布（80部） －商工会健診にて健康情報誌を配布（250部） －食品衛生責任者養成講習会にて受動喫煙防止対策、あいち健康マイレージに関する資 	<p><第1回> 令和2年6月30日（火）付け書面開催</p> <p>【内容】</p> <p>1 議題</p> <p>(1) これまでの取り組みと令和2年度の地域・職域連携推進事業について</p> <p>(2) 改正健康増進法（受動喫煙防止対策）について</p> <p>(3) 尾張中部地域における「禁煙」「受動喫煙防止」に関する標語募集について</p> <p>2 意見交換シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各議題への御質問・御意見等について ・禁煙・受動喫煙防止対策について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・健康経営について <p><第2回> 令和2年12月21日（月）付け書面開催</p> <p>【内容】</p> <p>1 議題</p> <p>(1) 令和2年度尾張中部地域における地域・職域連携推進事業について</p> <p>(2) 令和2年度商工会健診個別健康教育実施結果について</p> <p>(3) 令和3年度尾張中部地域における地域・職域連携推進事業計画案について</p> <p>2 意見交換シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各議題への御質問・御意見等について ・禁煙・受動喫煙防止対策について ・新型コロナウイルス感染症対策について <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議への参加可否について 	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の主要な取り組みである「禁煙」「受動喫煙防止」に関する標語募集について、募集内容などの詳細を決定した。 ・保健所における改正健康増進法への対応状況について情報提供し、各所属における禁煙・受動喫煙対策について意見交換を行ったことで、受動喫煙防止対策の理解が深まった。 ・感染症対策に関する情報交換を行い、事業所における感染予防行動の強化に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正健康増進法に関する啓発活動が、新型コロナの影響で積極的に行うことができていないため、標語募集を契機に、幅広い世代への啓発が望まれる。 ・地域・職域両者にて、感染症対策が主要課題となっているため、計画変更等臨機応変な対応が求められる。 <p><地域・職域連携推進ワーキング 第2回></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業の実績と課題を共有することができた。 ・第1回に引き続き、禁煙・受動喫煙対策や感染症対策に関する情報交換を行い、取り組み推進の一助となった。 ・次年度計画に関する意見交換を行い、引き続き禁煙・受動喫煙防止対策を図るとともに、コロナ禍による生活習慣の乱れに対するアプローチが必要であることが決定された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で出前講座の開催ができず、遠隔による出前講座などの体制整備が必要である。コロナ禍における生活習慣の乱れへのアプローチを含め、積極的な情報発信が求められる。 ・改正健康増進法を契機とした禁煙対策の推進を強化していく必要がある。
----------------------	---	--	---

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>尾張中部 (清須) 続き</p>	<p>料を配布 (100 部)</p> <p>【考察】 新型コロナウイルス感染症の流行により、出前講座の積極的な募集ができず、目標達成ができなかった。しかし、積極的な資料提供を行い、情報発信に努めた。</p> <p>○アウトカム (結果) 評価指標 (喫煙率) のデータ元である「特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価」の最新版が発表されておらず、現時点での評価ができない</p>		
<p>海 部 (津島)</p>	<p>【内容】 (書面開催)</p> <p>1 令和2年度津島保健所2次医療圏地域・職域連携推進事業の取組み 2 令和3年度津島保健所2次医療圏地域・職域連携推進事業について</p> <p>【評価指標に基づく結果・考察】 ○ストラクチャー (構造)</p> <p>【作業部会・協議会】 ①令和元年度資料を基に、連携意義や効果を共有。 ②今年度から各機関の担当窓口一覧を作成し、有識者を構成機関のメンバーとした。 ③各機関へデータ提供や取組報告を依頼し会議で共有。</p> <p>【連携事業】 ①各所属ホームページの作成は、各所属の意向を踏まえ各機関で作業を実施。</p> <p>○プロセス (過程)</p> <p>【作業部会・協議会】 ①目標は継続し、年間計画の取組みは非対面型に変更。 ②令和元年度資料を基に健康課題を明確化し、連携事業決定後、取組スケジュールを提示し進捗した。 ③パッケージ内容は未検討。</p> <p>【連携事業】 ①取組スケジュールを提示し、各機関の協力内容の意向を伺い実施。</p> <p>○アウトプット (事業実施量)</p> <p>【作業部会・協議会】 ①作業部会1回 (対面開催)、今年度の連携事業決定 協議会1回 (書面開催)、今年度報告、来年度計画 ②全ての構成機関から次年度取組みの協力可と回答</p> <p>【連携事業】 ①情報発信：地域・職域専用サイト設立、リンク7機関 ②事業所支援：5件 (健康経営や資源活用等の助言、好事例事業所へのインタビューなど)</p> <p>○アウトカム (結果)</p> <p>【作業部会・協議会】 ①特定健診実施率が県より高値：5市町村国保、特定保健指導実施率が県より高値：2市町村国保 (H30年度)</p>	<p><第1回> 令和2年10月20日 (火) 午後2時から4時まで</p> <p>1 今年度の地域・職域連携推進事業について 2 コロナ禍の情報発信について</p>	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <p>【成果】 コロナ禍により、対面型の啓発活動や事業所支援等が難しい状況にあるため、非対面型の取組みについて検討した。 ①協会けんぽの健康宣言実施事業所リストを活用してWチャレンジ事業を周知する ②地域・職域専用ホームページを開設し、情報発信ツールとする ③健康経営に関する映像媒体の活用 ④健康経営に取り組む小規模の好事例事業所のインタビューに基づく動画を制作し、小規模事業所対策のPRとする</p> <p>【課題】 ・情報発信の拡大 商工会議所や商工会等との事業連携</p>

	地域・職域連携推進協議会内容	地域・職域連携推進ワーキング内容	連携事業
海部 (津島) 続き	<p>②メタボ該当率が県より低値の市町村数：男性 2、女性 0、メタボ予備軍率が県より低値の市町村数：男性 2、女性 0 (H28 年度)</p> <p>③定期健診の有所見者率とその内訳 (R1 年度)</p> <p>有所見者率 60.8</p> <p>血中脂質 29.5、歯科検診 19.2、肝機能 15.7、血圧 13.9</p> <p>【連携事業】</p> <p>①管内の愛知県健康経営推進企業登録数：10</p> <p>管内の健康宣言Wチャレンジ実施事業所数：142(R3 年 3 月現在)</p> <p>②事業所支援の内容：健康経営や資源活用等の助言、好事例事業所へのインタビューなど、5 件</p> <p>③支援事業所のうち</p> <p>愛知県健康経営推進企業登録：1 (服部商会)</p> <p>健康宣言Wチャレンジを行った事業所の数：0</p>		
知多半島 (半田)	今年度は新型コロナ対応のため事業未実施		
三河北部 西三河南部西 (合同) (衣浦東部)	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業の取り組みについて、報告し意見を聴取した。 (食事教材の報告：①指導者向け PPT 資料、②指導者及び従業員向け動画、③野菜を増やすポイントリーフレット作成) ・2 次医療圏の特徴および健康問題について、統計資料を用いて資料を作成し、構成機関との共有を図った。 ・次年度計画について、①食事教材の具体的な活用方法について、②働き世代への健康情報の効果的な伝達方法について、②地域及び職域における各種健康づくり事業の情報交換の場を提供の 3 点を提案した所、全構成員より承認が得られた。 <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <p>○ストラクチャー (構造)</p> <p>地域・職域連携推進協議会を設置し、作業部会 2 回、協議会 1 回を開催した。関係機関が把握する健康問題や関連するデータの共有化が図られた。協議会構成員として学識経験者 (システム工学及び公衆衛生看護) を WEB 会議開催の協力を得ることができた。</p> <p>○プロセス (過程)</p> <p>地域特有の健康課題「高血糖者が多い」を明確化し、食事教材の作成という目標を設定し、構成員へ年間計画を動画にて示した。協議会についてホームページに記載し、食事教材を掲載した。</p> <p>商工会議所からは、先駆的な取り組みを知りたい、教材配付なら会員向けに可能等の積極的な意見が聞かれた。</p> <p>○アウトプット (事業実施量)</p> <p>年度当初の計画では、健康教育の実施回数及び評価を予定していたが、コロナの関係で実施が困難となったため、急遽動画の作成及び視聴回数をアウトプットとして変更した。野菜を</p>	<p><第 1 回></p> <p>意見照会期間：令和 2 年 9 月 30 日 (水) ～10 月 14 日 (水)</p> <p>(書面開催)</p> <p>1 動画の作成</p> <p>圏域の健康問題および関係機関における地域職域連携の課題を共有するために PPT を用いた動画を作成した。</p> <p>2 アンケート内容の集約</p> <p>食生活に関する教材作成についてのアンケートを作成し、必要とする教材の種類、内容、実施可能なこと、連携上の問題点等を集約した。</p> <p>工夫したことは、「〇〇ができる」という回答になるように質問内容を考慮した。</p> <p><第 2 回></p> <p>令和 2 年 12 月 9 日 (水)</p> <p>午前 10：30～11：45 (WEB 会議を名工大にて開催)</p> <p>1 意見交換</p> <p>「糖尿病予備軍へのアプローチ～圏域において関係機関のできていること、課題と感じていること、そして今後取り組むこと」</p> <p>2 本年度の計画、教材素材案の経緯</p>	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第 1 回></p> <p>【成果】</p> <p>上記内容 1 及び 2 により、関係機関における意識、食事教材のニーズ (種類、内容を含む) が対面開催よりも詳細に把握することができた。</p> <p>行政側は「どのような支援が求められているかわからない」、企業側は「誰に何を頼めばいいかわからない」といった声が聞かれた。</p> <p>既存事業の中でつながれること、マイナーチェンジをすれば可能なことがあるため、地域及び職域両者の情報共有の場を設けることが必要と考える。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の場が必要 (何から取り組むべきか優先順位を決める、その優先順位を共有する場を作ること) <p><地域・職域連携推進ワーキング 第 2 回></p> <p>【成果】</p> <p>ブレイクアウトルームでは、個人ワークと意見共有を交えながら、WEB 上でワークシートを活用し、効果的な地域・職域関係者の意見交換が実施できた。</p> <p>終了後のインタビューにおいて次のような積極的意見が聞かれた。①碧南市より、地域職域関係機関の窓口担当者の明確化、健康保険組合から「行政の仕事が見えない」</p>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>(合同) (衣浦東部) 続き</p>	<p>増やすリーフレットは5機関、4740部を、商工会会員、特定健診指導者等への配布を関係機関へ依頼した。</p> <p>○アウトカム（結果）</p> <p>短期的アウトカムの糖尿病等の生活習慣病有病者・予備軍の数については、年度末での評価は困難である。</p>	<p>ブレイクアウトルーム（意見交換）</p> <p>2Gに分かれて、個人ワーク→グループ内の意見共有→全体共有を実施した。</p> <p>※事前に集約した教材に関する意見について構成員へ送付した。</p>	<p>との意見より、情報交換会の希望あり。②安城商工会議所より、「行政と商工会議所がコラボした地域職域連携の取組みが知りたい。そうすれば、自分たちが何をしていけばよいか分かると思う」</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の実際について、具体的な取り組みを知る機会を作る必要がある。
<p>西三河南部東 (西尾)</p>	<p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から対面開催は中止し、資料配布により書面開催とした。</p> <p>1 報告事項</p> <p>ア 西三河南部東医療圏の主な健康等の情報について</p> <p>イ 今年度の西三河南部東医療圏地域・職域連携推進事業の取り組み状況について</p> <p>2 協議事項</p> <p>令和3年度西三河南部東医療圏地域・職域連携推進事業計画（案）について</p> <p>3 情報提供</p> <p>ア 職場における新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>イ 働く世代のアルコール問題について</p> <p>ウ 健康経営推進企業支援事業について</p> <p>エ 受動喫煙防止対策について</p> <p>【評価指標に基づく結果・考察】</p> <p>○ストラクチャー（構造）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面での開催ができず、本事業についてどれほど理解が得られているか不明な部分があるが、書面にて他機関への情報提供や意見等を確認するようにした。 ・資料にまとめる形で、各機関が実施する取組や新型コロナウイルス感染症の影響により工夫した点等を共有して、地域・職域で相互に活用できるように図った。 <p>○プロセス（過程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データについて、保険者間や県との比較、経年変化等が確認できるよう資料をまとめている。 ・具体的な連携事業については、担当者間での意識統一、スケジュール管理のため、実施要領を定めて取り組んだ。取組結果を会議にて報告し、次年度の計画に繋がるよう長期的な視点で計画・実施するようにしている。 <p>○アウトプット（事業実施量）</p> <p>作業部会・協議会：書面開催 各1回</p> <p>連携事業：アンケート回収数 47/229事業所（回収率 20.5%）</p> <p>アンケート調査により健診未受診者の実態が明らかになったが、未回答者の状況が不明。</p> <p>○アウトカム（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業：商工会議所と連携することにより、アンケート回収率を前年より大幅に向上することができた。 ・また、本連携を将来にわたって持続的に活用する足掛かりができた。 ・これまで、アウトリーチが問題となっていた小規模経営企業にアクセスすることが可能に 	<p><第1回></p> <p>書面開催（令和3年1月）</p> <p>1 内容</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア 圏域の主な健康等の情報について</p> <p>イ 各機関の今年度の地域・職域連携推進事業の取り組み状況について</p> <p>～新型コロナウイルス感染症の影響を受けて～</p> <p>ウ 幸田町商工会との連携事業について（西尾保健所）</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>来年度の事業計画について</p> <p>(3) 情報提供</p>	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <p>【成果】</p> <p>○対面での開催が困難であったため、各機関が今年度実施した保健事業について報告を依頼し、資料にまとめて共有した。新型コロナウイルス感染症の影響による工夫点や課題等をまとめることで、自機関の振り返り及び他機関にとっては参考となるようにした。効果的な取組について、他機関と情報交換できる機会となった。</p> <p>○保健所が関係機関と連携して行った具体的な取組について、資料にまとめて報告した。</p> <p>【課題】</p> <p>○今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、対面による会議や取組を行うことが困難だった。対面によらない効果的な連携事業の実施について、検討する必要がある。</p> <p>○コロナ禍で各機関が抱える課題は地域・職域で共通する部分が多くあり（健診受診者の減少、保健事業の実施が困難等）、連携が必要とされる。</p>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

<p>西三河南部東 (西尾) 続き</p>	<p>なった。 ・ただし、未回答者の状況が不明のため、今後さらに深いアプローチが必要である。</p>		
<p>東三河北部 (新城)</p>	<p>今年度は新型コロナ対応のため事業未実施</p>		
<p>東三河南部 (豊川)</p>	<p>【内容】 1 議 題 （1）令和2年度地域・職域連携推進事業の実施状況について （2）令和3年度東三河南部医療圏地域・職域連携推進協議会計画（案）について ・今後の方向性（令和3年度から令和5年度までの3年計画）と令和3年度計画について承認を得た。 【評価指標に基づく結果・考察】 ○ストラクチャー（構造） ①地域職域連携の意義や効果が関係機関で共有されている。：各所属の中で、協議会及びワーキングで得た情報を基に地域職域関連事業を推進しているが、協議会共同での事業実施は希薄である。 ②各関係機関が把握する健康課題や、関連するデータが共有されている。：ほぼ共有されている。 ③各関係機関が保有するリソースや既存の取り組みが共有され、相互に活用できるようになっている。：取り組みの共有はしているが、相互活用はできていない。 ○プロセス（過程） ①収集・分析したデータに基づき地域特有の健康課題が特定されている。：血糖値高値者対策として特定している。 ②連携事業について関係機関に必要な情報提供を行っている。：ワーキンググループ構成員所属への発信は2回に留まった。 ③連携して取り組むべき優先課題を設定している。：事務局からの連絡調整数の不足から、優先課題を共有し合うに至らなかった。 ○アウトプット（事業実施量） ①ワーキング及び啓発協力に参加した所属数（再掲職種役割別）： 20件（事業所4件、商工会等7件、産業労働機関3件、各市6件） ②パンフレット等の配布数・配布率（配布事業場数／対象事業所数）： ・「東三河南部地域・職域連携推進協議会からのお知らせ」980件/980件 ・「飲み物に含まれる砂糖の量」シート配布等 9件/980件 ○アウトカム（結果） ①生活習慣が改善した者の割合（改善者／健康教育参加者、健康教育参加者と被参加者の比較） ②糖尿病等の生活習慣病有病者・予備軍の数：今年度算出できず。次年度以降評価予定</p>	<p><第1回> 令和2年11月13日(金) 午後2時から午後4時30分まで 【Web開催】 報告事項 ①東三河南部医療圏の働く世代の健康課題： ・「高血糖有病率は全ての従業員規模で県、全国に比べ高い」(R1定期健診)・「労働力率が高い」「農業就業者割合が高い」「従業者1～4人の事業割合が高い」(平成28年度経済センサス) ②令和3年度東三河南部医療圏地域・職域連携推進協議会の取り組み(案)： 働く世代の糖尿病予防対策と健康経営の推進をテーマに、3年計画で取り組んでいく。 議題「働く世代の健康管理意識を高める健康情報の発信と事業主が進んで健康宣言を始めるきっかけづくりについて」 ・構成員から糖尿病予防と健康経営への意見を募り資料提示。各構成員から補足説明。また、「健康意識のある企業」として、協会けんぽの健康宣言事業所一覧から、各市の10月末現在の登録数を提示。豊川市は愛鉄連健保組合健康宣言事業所を、田原市は、「がん検診受診率向上推進サポーター登録企業」を追加提示し、各市の健康宣言事業所への認識を深めた。 (Web開催への変更及び所属の新型コロナ対策で欠席構成員が多かった。)</p>	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回> 【成果】 ・田原市からの「がん検診受診率向上推進サポーター登録企業の紹介を受け、豊橋鉄道(株)から、田原市内の関連事業所に伝えることで、登録に繋がった。 【課題】 ・中小事業所の事業主が、健康宣言事業所として従業員の健康を重視できるよう、各地域での効果的な取り組みを共有しながら、今年度中止となった研修等の機会を引き続き計画していく必要がある。</p>

課題一覧

医療圏 (保健所)	課 題 の 内 容
尾張西部 (一宮)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、ポスターが当初の計画通り配付できていない。 ・社員食堂が感染拡大防止のため運営方法が変更になる等、社食プロジェクトも新型コロナウイルスの影響を受けている。 <p><地域・職域連携推進ワーキング 第2回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での連携事業の実施や会議の開催方法（webの活用）
尾張東部 (瀬戸)	<p><地域・職域連携推進ワーキング></p> <p>—</p>
尾張北部 (春日井)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における当事業（特に健康づくり出前講座）の進め方について
尾張中部 (清須)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正健康増進法に関する啓発活動が、新型コロナの影響で積極的に行うことができていないため、標語募集を契機に、幅広い世代への啓発が望まれる。 ・地域・職域両者にて、感染症対策が主要課題となっているため、計画変更等臨機応変な対応が求められる。 <p><地域・職域連携推進ワーキング 第2回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で出前講座の開催ができず、遠隔による出前講座などの体制整備が必要である。コロナ禍における生活習慣の乱れへのアプローチを含め、積極的な情報発信が求められる。 ・改正健康増進法を契機とした禁煙対策の推進を強化していく必要がある。
海 部 (津島)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の拡大 <p>商工会議所や商工会等との事業連携</p>
知多半島 (半田)	<p>今年度は新型コロナ対応のため事業未実施</p>

地域・職域連携推進協議会内容

地域・職域連携推進ワーキング内容

連携事業

医療圏 (保健所)	課題の内容
西三河北部 西三河南部西 (合同) (衣浦東部)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の場が必要(何から取り組むべきか優先順位を決める、その優先順位を共有する場を作ること) <p><地域・職域連携推進ワーキング 第2回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の実際について、具体的な取り組みを知る機会を作る必要がある。
西三河南部東 (西尾)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、対面による会議や取組を行うことが困難だった。対面によらない効果的な連携事業の実施について、検討する必要がある。 ・コロナ禍で各機関が抱える課題は地域・職域で共通する部分が多くあり(健診受診者の減少、保健事業の実施が困難等)、連携が必要とされる。
東三河北部 (新城)	<p><地域・職域連携推進ワーキング></p> <p>—</p>
東三河南部 (豊川)	<p><地域・職域連携推進ワーキング 第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小事業所の事業主が、健康宣言事業所として従業員の健康を重視できるよう、各地域での効果的な取り組みを共有しながら、今年度中止となった研修等の機会を引き続き計画していく必要がある。